

Zoom報告会 2023.6.25

ミントセンター支援プロジェクト



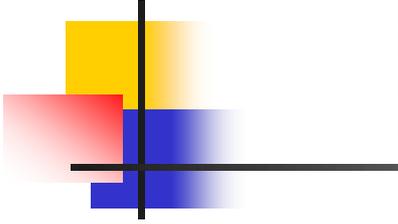
理学療法士 土屋辰夫
看護師 土屋まさみ
通訳 ファテメ モスレヒ
代表 パシャイ モハメッド



プロジェクト①

ミントリハセンター利用者支援

- ① 機能訓練プログラムの作成および助言
- ② 車椅子および補装具の評価と適合支援
- ③ 日常生活についての助言
- ④ 家族への介護支援





プロジェクト② ミントリハセンター日報・ 相談受付表の作成と運用

a. 利用状況の日報

ミントリハビリセンターの通所者日報記録の書式を作りペルシャ語に翻訳したうえで運用を開始した。

b. 個別相談受付表(フェイスシート)

個々人のニーズや障害状況、生活環境などを聞き取り記録した。→今後の活動に活かす

			障害別件数			計
	男性	女性	脊髄損傷	整形外科疾患	その他	
5月20日	6	2	4	1	3	8
21日	4	2	4	1	1	6
22日	6	1	3	2	2	7
23日	7	3	6	2	2	10
24日	ベヘジシティ ワークショップ					
25日	5	3	3	3	2	8
26日	金曜休日					
27日	8	6	10	3	1	14
28日	1	3	1	2	1	4
29日	ベヘジシティ ワークショップ					
30日	7	5	4	3	5	12
31日	ベヘジシティ ワークショップ					
6月1日	7	6	5	5	3	13
2日	金曜休日					
3日	3	1	3	0	1	4
4日	イランの休日・ホメイニ氏追悼の日					
5日	イランの休日・ホルダード民衆蜂起の日					
6日	ミントディ ミントセンター交流会(参加者55名)					
7日	帰国日	1		1		1

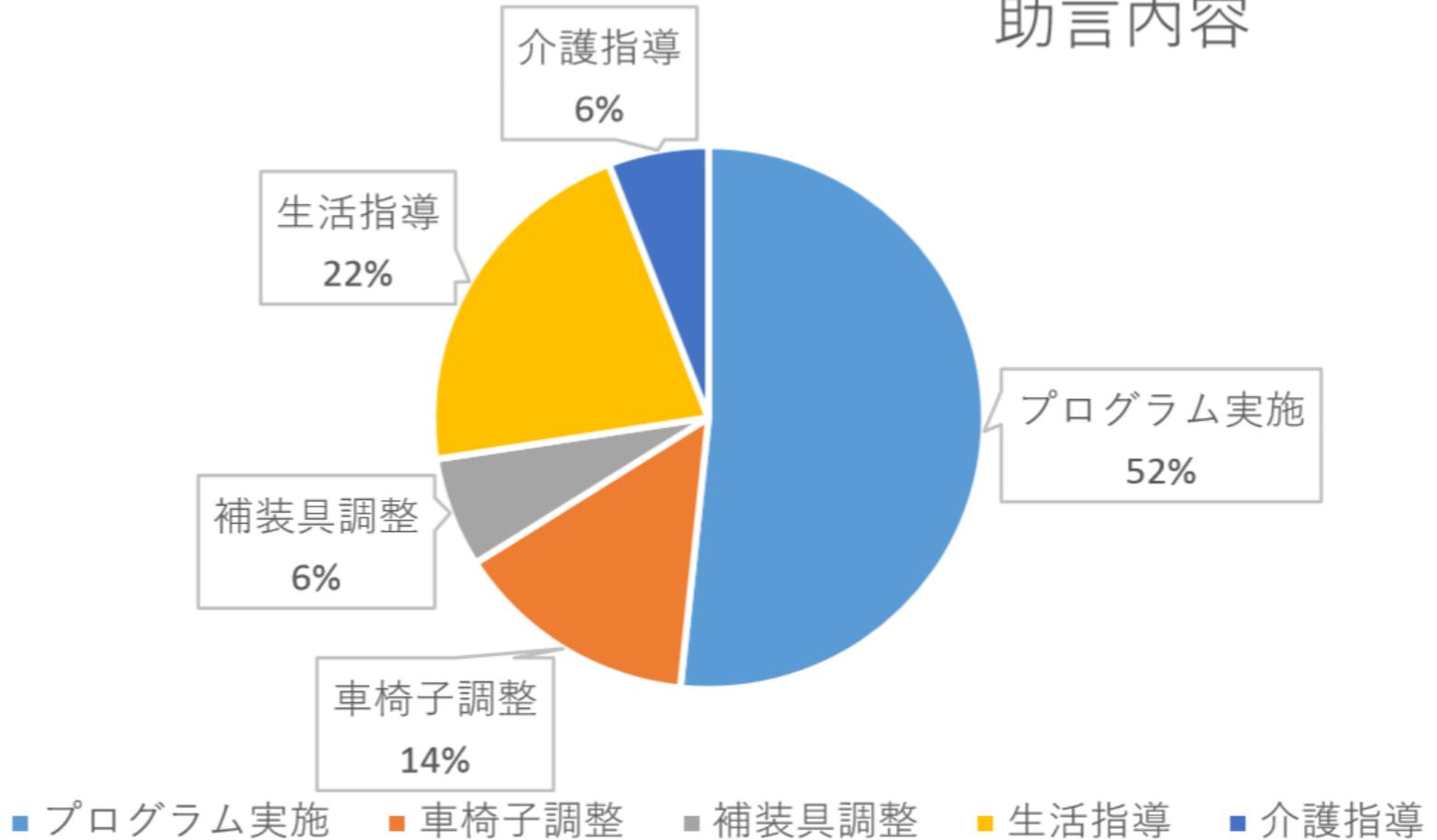
	指導内容					通所方法			
	プログラム実施	車椅子調整	補装具調整	生活指導	介護指導	自動車運転	自動車同乗	タクシー	徒歩
5月20日	8	3	2	3	1	2	4	0	2
21日	5	3	1	3	1	1	4	0	1
22日	7	2	1	4	1	1	2	3	1
23日	9	1	0	6	1	2	4	0	4
25日	4	1	1	4	1	2	4	0	2
27日	14	3	2	3	1	3	8	2	1
28日	3	1	0	2	0	1	2	0	1
30日	12	3	1	4	2	2	4	4	2
6月1日	13	3	2	3	1	2	2	4	3
3日	3	2				2			
7日	1			1					
総計	79	22	10	33	9	18	34	13	17

障害別件数

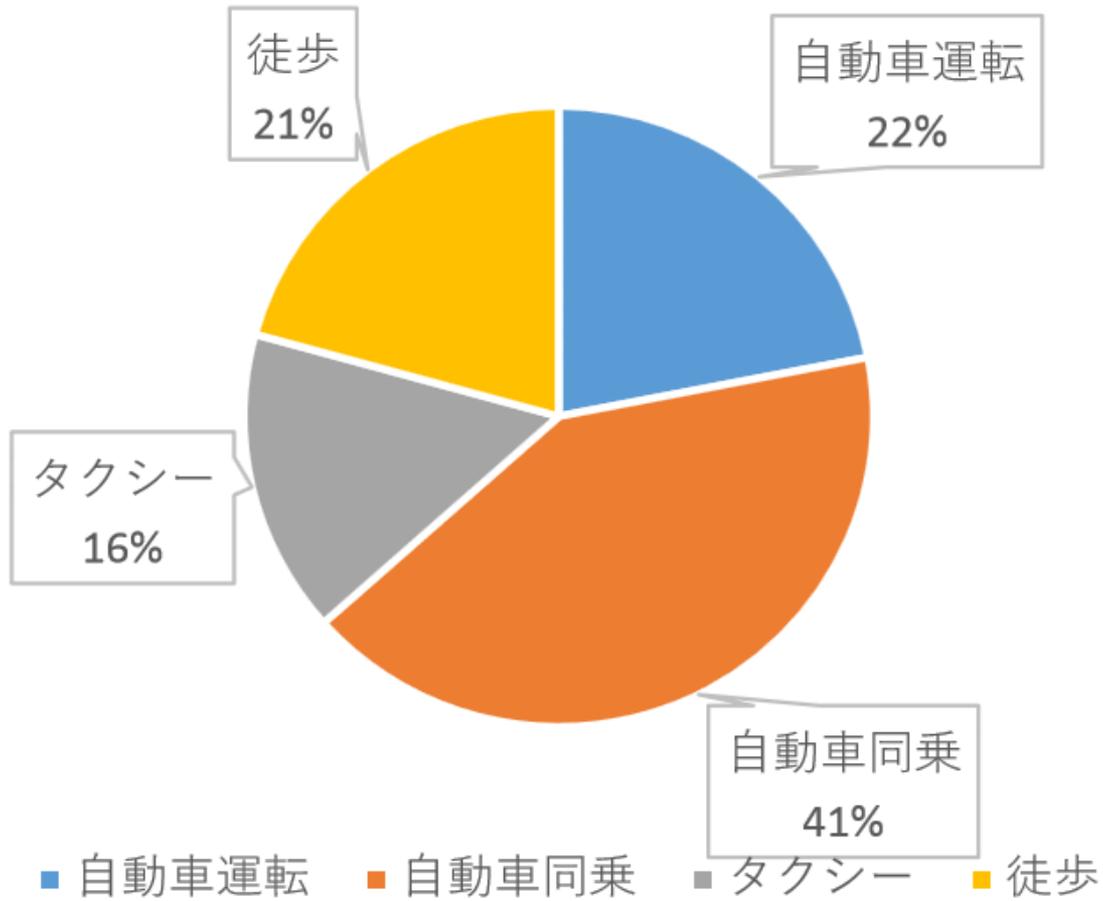


■ 脊髄損傷 ■ 整形外科疾患 ■ その他

助言内容



通所方法



基本情報 Basic information

生年月日 Date of birth	性別Sex	名前 name
受傷年月日 onset	障害名 Type of disability	診断名 Diagnosis
これまでのこと(受けた治療等)・今困っていること・今後希望すること 1.Medical history(treatment received) 2.Current problems 3.What to expect in the future		
かかりつけ医 Doctors if you have	家族・主介護者 Family situation ・ primary caregiver	
連絡先 Contact address	利用している医療や介護のサービス Medical and nursing care services used	
趣味 Hobbies	今までしていた仕事 Work history	
	今していること What doing now	
移動の方法 (独歩 杖歩行 車椅子 電動車椅子 不可) その他 How to move (independent walking ・ cane walking ・ w/c ・ electric w/c ・ impossible) others		
普段の交通手段 Usual means of transportation		
使用している福祉用具 welfare equipments used		
外出する時に妨げになっていること Obstacles when going out (例えばミントセンターに来る時) (For example when coming Mint center)		

相談日

2023. 5. 20

基本情報

生年月日 1965年生 58歳	性別 男性	名前 モ ○ ○ ド ○ ○ デイ
受傷年月日 38歳	障害名 両下肢切断 右片麻痺	診断名
これまでのこと(受けた治療等)・今困っていること・今後希望すること 38歳時、火事で両下肢切断。50歳時、右片麻痺。 現在、デンマークとイランを行き来している。デンマークで両下肢切断手術、義足作製する。義足で仕事をしていたが、右片麻痺後、車椅子生活になる。4回程、義足作製した。今は両膝伸展位の義足を使用している。室内は歩行器使用。歩行時、右下腿に痛み出る。トイレ自立。 高血圧、糖尿病あり。		
かかりつけ医	家族・主介護者 妻	
連絡先	利用している医療や介護のサービス ミントセンターに3~4/W来所 精神的に落ち込みやすい。	

趣味	今までしていた仕事 シェフ
	今していること
移動の方法 (独歩 杖歩行 <u>車椅子</u> 電動車椅子 不可) その他 外出時、車椅子使用 自宅内、 <u>歩行器使用</u> (前キャスター)	
普段の交通手段 友人の車に同乗 又はタクシー	
使用している福祉用具 両下肢義足 歩行器	
外出する時に妨げになっていること (例えばミントセンターに来る時) 両下肢義足が伸展位のままなので、車や飛行機に乗りにくい。自動車運転ができないのでタクシーか支援者に頼まなくてはならない。マンションのエレベーターが狭いため車椅子をたたみ歩かなくてはならない。	

フェイスシートへの記録と分析

通所する方の記録を残し、必要な支援が継続できるようにする。



- 日本の形式にとらわれない必要な記録
- 記録を誰が行い、どう使うか？

プロジェクト③

アルボルズ州ベヘジシティ主催 ワークショップ

- ① キャラジ市ベヘジシティ研修室
テーマ「褥瘡予防のためのポジショニング」
参加者40名（障害当事者6名、介護職、医療職、施設職員等）
- ① ファルディーズ小児施設研修会場
テーマ「褥瘡予防のためのポジショニング」
参加者44名（障害当事者6名、介護職、医療職、施設職員等）
- ① ハッシュドゲード研修会場
テーマ「褥瘡予防についての知識と実践」
参加者40名（障害当事者6名、介護職、医療職、ベヘジシティ職員等）

نحوه جلوگیری از ابتلا به زخم بستر

(褥瘡を予防する)



Community Support
for the Disabled

Mint assist. Physical therapist

TATSUO TSUCHIYA

Nurse

MASAMI TSUCHIYA

ミントの会理学療法士 土屋辰夫

看護師 土屋まさみ







プロジェクト④

訪問リハビリテーション支援

高齢者施設への訪問



ミントリハセンターから自宅に同行訪問



プロジェクト⑤

ミントセンター交流事業

日本文化の紹介

- 1) ミントの会からの寄せ書き展示
- 2) つるし飾り・お薬カレンダー展示
- 3) 生け花実演展示
- 4) 日本の歌紹介
- 5) ミントディ・カレーライスパーティー



